

村半利活用検討会（令和5年度第1回）結果報告

日時 令和5年6月23日(金)16時00分～17時30分

場所 村半 大会議室

出席者 検討会メンバー8名、講師 長瀬欣子様、オブザーバー2名(地域ラボ・高山)、事務局(総合政策課)6名

内容

1 協議事項

(1) 利用状況等について

- ・令和5年3月～5月の利用状況や占用利用実績等について説明
- ・今後の占用受付について

(2) 展示の実施について

2 報告事項

(1) 村田氏からの寄贈について

(2) 近隣の方への広報誌

3 講演

MAPの活動と飛騨地域の高校生の実情等について

<意見交換、質疑> メ:構成メンバー、講:講師、オ:オブザーバー(地域ラボ・高山)、事:事務局
(1)協議事項「展示の実施について」に対する意見等

村半内に若者に知ってもらいたい、見てもらいたいものについて展示するスペースを設置することを提案した。

メ:展示できないものとして、「公序良俗に反するもの」、「過激であるまたは利用者や見る方が不快な気分になるといった、青少年の健全育成にふさわしくないもの」とあるが、判断が難しいのではないかと。

事:有害図書などを想定しており、明らかにふさわしくないものを除外するために定めた。悩んだ場合は検討会で相談させていただく。現在は山の写真、手作りの絵本、障がい者の方のアート作品の相談を受けている。

メ:山の写真の方は写真を生業にされている方か。年齢はいくつくらいの方か。

事:趣味で撮影されている方で、年齢は50代、60代だと思う。

メ:展示方法について、壁に穴をあけてフック等を取り付けて絵や写真などを掛けられるようにするのか。

事:穴は開けず、壁や棚に立てかけることを考えている。

メ:展示を想定しているものの中に、「飛騨地域にお住まいの方が製作し販売されているもの」とあることが気になっている。市の公共施設に置くことで箔がつくようなこともあると思う。

事:市役所本庁舎においても地場産品を展示している。地域の作家の作品を一定の期間展示しても良いと思っている。その作品がどこで購入できるかといった情報までは表示しない。

メ:展示会場のように製作者の SNS のダイレクトメールで購入までのやり取りを行うなど、販売につながりかねないと思う。高校生や若者が展示されているものを見て、作ってみたいまたは作品を作った方に会ってみたいというような興味を示すような仕掛けになると良いと思うが、作品を見て市が押しているらしい、買いたいとなるような宣伝活動になっては良くないと思う。高校生が作った作品がメインの展示物になると良いが、大人の作品がメインの展示会場になるのはいかがなものかと思う。

メ:前回の検討会において協議した村半での撮影ルールについて、結婚式の前撮りなどを事業者が行いたいと相談があった場合、その写真を事業者の SNS やホームページなどに掲載することは営業行為になると思うが、物を置くこともそれと同じで自身の SNS で PR するような行為は営業行為になるのではないか。

事:地場産品の中で特に販売しているようなものについて、今後展示の相談があった場合はまたこの検討会において相談させていただきたい。

メ:展示の依頼者は市外の方でも良いか。

事:市外の方からの依頼も受けたい。

メ:展示する場所は北蔵2階としているが、常に展示物を見ることができるのか。占用利用で見られないこともあるのか。

事:ある。占用利用の場合で、利用者から他の方を入れないでほしいと希望があった場合は見ることができない。現在のところ北蔵2階の占用利用は年に数回程度と少ない利用となっている。

メ:北蔵2階を占用利用したい方が展示スペースを使いたいという場合は展示物を撤去するのか。

事:内容を確認して一時撤去などで対応したい。

メ:展示場所は提案の北蔵2階以外は検討されたか。

事:主屋は展示場所とはしない。土蔵の6部屋の中で、展示できるスペースがあるか、占用利用の頻度、利用者に影響のないところなどの理由から北蔵2階からまずは始めたいと思っている。

メ:破損や紛失の可能性のあることをチェックしてもらうなどはっきりしておくトラブルが防げると思う。また期間が終了したら持ち帰ってもらうようにしたほうが良いと思う。持ちに来なくてそのまま村半に置いてほしいとなることもあると思う。

事:現在物品の寄附の相談については何でも受けることはしていない。一時的に置いてもいいという運用にしていきたい。

メ:展示の依頼者が常駐して説明したいとなった場合は可能か。

事:常駐したい場合は占用利用としたい。これまで実施した写真展は、大会議室で3日間の占用利用だった。常駐の依頼があった場合は期間を短くしてもらったり、場所を大会議室にってもらうなど相談したい。

メ:多くの高校生や若い世代の方が気軽に発表したり展示してもらえることを印象付けてもらえるような PR をしてほしい。

事:現在は大人の方からの相談が多いが、中高校生が自分で作ったものを展示できるようにしたいとも考えている。

(2) 報告事項「村田氏からの寄贈について」に対する意見等

メ:文化財課で受けた寄贈物品について説明してほしい。

メ:(文化財課 説明)

メ:市は何でも寄附を受け入れることはなく断られることもある。

メ:収容できる大きさのもの、展示をしたいもの、歴史資料として活用できるものか等を勘案して寄附

を受けている。

メ:市の所有物になるのか。

事:はい。寄附者が建物と土地の所有者であった方のものであることと、利用者の方に見てもらったり使ってもらえるものであると判断し受領することとした。

(3)講演「MAPの活動と飛騨地域の高校生の実情等について」に対する意見等

オ:実施されたアンケートはMAPが行ったのか。項目は高校生が考えたのか。発見がたくさんあったので多くの方に聞いてもらえると良いと思った。

講:アンケートはMAPで実施した。項目も高校生が考え、わたしも聞きたいことを少し追加した。この資料は昨年市内の若手経営者の研修において使用し、高校生の意見を知りたいという声をいただいたためこのような形でまとめた。

メ:今の子どもたちは自分たちの頃と違って真面目な子が多いと思った。自分たちの頃は3分の1が不真面目だったと思う。

メ:村半の整備のときに、地元では高校生や若者が集まることでタバコなどの火事の被害を心配していたが、今の講演を聞いて時代は変わったんだなと思った。こういった高校生の実情についてこれまで触れることがなかったので、ぜひ今後も若者のいろんな情報を聞かせてほしいと思う。

メ:企業の高卒採用について企業側は採用したいというところもあると思うが、高校生側が地元就職の希望がないのか。

講:今は高校卒業後に地元に残る子が少なく、名古屋などの都会の方に知り合いがいる。地元で孤立してしまって寂しくなって2年くらい働いた後、都会に出ていく子も多い。

メ:企業側は高卒の子を取りたいけど取れないという状況なのか。

講:企業によっては高卒採用を行っているところもあるが、地元の企業に最近伺った話では、高校を卒業して地元就職した若者が数年務めてから退職願いを出されることが年々増えてきているとのことだった。SNSなどで都会の楽しそうな情報を簡単に知ることができることも要因なのかもしれない。

メ:地元の大人が幸せそうにみえるという高校生が多いのに、地元就職が少ないというギャップがあるのはなぜなのかと思った。大人は幸せそうにみえないという高校生が多いと思っていた。

講:意外と子どもは大人の事をそのように見ているということは発見だった。

メ:自分が子どもの頃は、観光客も少なくまちは閑散としていて寂しく希望が無い感じだった。

以上